



日本遺産
JAPAN HERITAGE
系部物語

由木中央小



令和7年2月12日
学校だより 第13号
八王子市立由木中央小学校

教育目標 「すすんで学習をしよう」「あったかい心をもとう」「じょうぶな体をつくろう」

HP アドレス <https://hachioji-school.ed.jp/yugce/>

校長 松山 大作

令和6年度 学校評価(後期)のご報告

学校評価アンケート(後期)にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。いただいた貴重なご意見をもとに、今後の教育活動及び学校運営に生かしてまいります。

保護者アンケート

実施期間 令和6年11月25日～12月9日

保護者504人(児童数)に対して、211人から回答をいただきました。(回答率 41.8%)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1 学校の教育方針を知っている。	72.0%	0.0%	0.0%	28.0%	0.0%
2 学校の特色ある取り組みを知っている。	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
3 本校が由木中・由木東小と一緒にを行う取り組みを知っている。	82.5%	0.0%	0.0%	17.5%	0.0%
4 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	75.4%	21.8%	0.0%	0.0%	2.8%
5 学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	59.7%	31.3%	3.3%	0.0%	5.7%
6 学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	52.6%	28.0%	3.8%	2.4%	13.3%
7 子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	62.6%	24.2%	3.8%	0.9%	8.5%
8 学校は、授業において説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	60.7%	26.1%	2.8%	1.9%	8.5%
9 学習活動に対する評価は適切・公平である。	54.0%	27.0%	3.8%	0.9%	14.2%
10 学校は子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	56.9%	31.8%	5.2%	1.4%	4.7%
11 学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	70.1%	21.3%	1.4%	0.9%	6.2%
12 学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	50.7%	33.2%	4.7%	2.4%	9.0%
13 学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	71.1%	22.7%	1.9%	0.9%	3.3%
14 学校は、特別支援教育に取り組んでいる。	46.0%	24.2%	4.3%	3.8%	21.8%

○肯定的な回答がほぼ80%を超えており、引き続き本校の教育活動に概ねご理解いただいていることがうかがえます。

○設問5の「学校は、『特別の教科 道徳』を含む教育活動全体を通して子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。」では、前期より肯定的な回答が 4.4%増えました。また、設問11の「学校が、『はちおうじっ子 キャリア・パスポート』等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。」でも、前期より肯定的な回答が 4.7%増えました。保護者の皆様が、お子さんの学校での様子を丁寧に見守ってくださっていることの表れだと考えます。今後も落ち着いて学習できる環境が習慣化されるよう、学校全体で徹底して指導にあたりると共に、家庭と連携をとって教育活動を推進していきます。

●設問6の「いじめを許さない学校づくり」では否定的な回答が6.2%でした。本校では、週一度の全体での認知会議や組織メンバーを中心としたいじめ対策委員会の開催、定期的なふれあいアンケートの実施などを通して、学校全体でいじめ防止や対応に取り組んでいます。今後も保護者の皆様と密に連携しながら児童の様子を見守っていきます。不安なことがありましたら、遠慮なく担任や学校にご相談ください。

●設問12の「学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。」では、否定的な回答が7.1%ありました。施設の老朽化も見られるため、市と連携して対応していきます。

●設問14の「学校は、特別支援教育に取り組んでいる」では、否定的な回答が8.1%でした。また、「わからない」という回答も21.8%ありました。本校では、特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教室巡回教員やスクールカウンセラー等と連携しながら、特別支援教育に取り組んでいます。今後も、学校の取組について情報発信し、多くの方に知っていただけるようにします。わからないことがありましたら、担任や養護教諭を通じていつでもご相談ください。

地域アンケート

日頃からお世話になっている地域の8人の方に、ご回答いただきました。(実施時期 10月)

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	学校の経営方針を知っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	学校は、特色ある取組を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	本校が、由木中学校と合同で行う取組を知っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	学校は、『特別の教科 道徳』を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	学校は落ち着いた学習できる雰囲気である。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように取り組んでいる。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や働き方等についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
10	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
11	学校は、地域に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	学校は地域運営学校として、地域とともにある学校づくりを推進している。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%

○設問1の「学校の経営方針を知っている。」、設問2の「学校は特色ある取組を行っている。」、設問3の「本校が、由木中学校と合同で行う取組を知っている。」、設問8の「学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように取り組んでいる。」、設問11の「学校は、地域に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。」では、全ての方に「あてはまる」の回答をいただきました。

●設問4の「学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。」、設問5の「学校は、『特別の教科 道徳』を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。」、設問6の「学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。」、設問7の「学校は落ち着いた学習できる雰囲気である。」では、「あてはまる」が、75.0%と、他の項目に比べると低い値でした。これまで以上に丁寧に取組を行い、情報提供をしまいにします。

児童アンケート

実施期間 令和6年11月25日～12月9日

対象 5・6年生児童

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	先生たちは、学校目標(すすんで学習をしよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう)を伝えていますか。	93.6%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%
2	先生たちは、特色ある取組(ことばを大切にしたい学び合い)を行っていますか。	94.2%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3	先生たちは、由木中・由木東小と合同に行う取組を行っていますか。	89.6%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%
4	先生たちは、児童が安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか。	82.7%	16.8%	0.0%	0.0%	0.6%
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することできるように先生たちは指導していますか。	72.8%	24.3%	0.6%	0.6%	1.7%
6	先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合には直ちに対応をしたりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか。	67.1%	27.2%	1.2%	1.2%	3.5%
7	先生たちは、落ち着いた学習できる学級づくりに取り組んでいますか。	61.8%	35.8%	1.2%	0.0%	1.2%
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習端末を含む)の活用などの工夫に取り組んでいますか。	74.6%	23.7%	0.6%	0.0%	1.2%
9	先生たちは、児童がよりよい生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るよう指導していますか。	74.6%	23.1%	1.2%	0.0%	1.2%
10	先生たちは、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、児童・生徒の生き方や将来についての指導をしていますか。	69.4%	23.1%	1.7%	0.0%	5.8%
11	先生たちは、学習環境の整備に取り組んでいますか。	66.5%	28.9%	1.7%	0.0%	2.9%

○前期に引き続いて、全項目で肯定的な回答が9割を超えています。前期同様、設問1, 2, 3では肯定的な回答が100%となっています。特に設問3「由木中・由木東小と合同で行う取り組みができていますか」では、「あてはまる」が前期の81.3%から89.6%に上昇しました。5年生がビブリオバトルで由木東小と交流したことや、児童会が由木中、由木東小と連携して「ありがとうカード」の取り組みをしたことも理由だと考えられます。今後も3校で連携し、交流しながら児童の視野を広げ、中学校進学への見通しをもつことができるように働きかけていきます。

●設問6「いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか」では、依然として肯定的な回答が多かったものの、前期の97%から94.3%にやや下がりました。その中でも「あてはまる」が前期の71%から67.1%に下がりました。1月には全児童対象に「いじめは絶対ダメ！わたしの宣言」を新たに実施し、いじめを自分事として考える取り組みを行いました。今後も「いじめは絶対に許さない」というメッセージを伝えると共に、児童一人ひとりが大切にされているという実感がもてるよう、あらゆる教育活動に取り組んでいきます。そして、よりよい人間関係を作るために、気持ちのよい挨拶や言葉遣いを継続的に意識させるようにしていきます。

授業アンケート

実施期間 令和6年11月25日～12月9日

対象 4・5・6年全児童

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	先生の教え方は分かりやすい。	51.5%	45.6%	2.2%	0.8%
2	自分の学習への取り組みを先生はきちんと評価してくれる(分かってくれている)。	48.5%	48.8%	1.7%	0.9%
3	先生は、授業で目標(めあて・ねらい)を示している。	54.8%	41.4%	2.4%	1.3%
4	先生は、調べたり、考えたり、話し合ったりする場面を授業の中に取り入れている。	42.4%	47.9%	5.5%	4.2%
5	先生は、パソコンやプロジェクターなどのICT機器を活用した授業を行っている。	45.4%	42.2%	5.0%	7.3%
6	先生は、授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている	41.7%	51.3%	4.3%	2.7%
7	自分は、分かろうとする意欲をもって授業にのぞんでいる。	45.8%	52.1%	0.8%	1.3%
8	自分は、おしゃべりなどをしないで、授業を真面目に受けている。	18.5%	63.9%	15.1%	2.5%
9	自分は、授業中、進んで自分の考えを発表している。	25.0%	51.7%	19.5%	3.8%
10	自分は、分からないことは先生や友達に聞いている。	49.6%	45.7%	3.8%	0.9%
11	自分は、授業中、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりしている。	34.2%	59.9%	3.4%	2.5%
12	自分は、授業道具等の忘れ物はしていない。	38.9%	47.4%	12.0%	1.7%
13	自分は、ノートや提出物・宿題などをきちんと出すようにしている。	46.6%	41.5%	9.3%	2.5%
14	自分は、レッツスタディYGCを知り、取り組んでいる。(学年×10分の学習時間)	29.6%	48.3%	15.2%	7.0%
15	自分は、読書活動に意欲的に取り組んでいる。	34.9%	50.2%	10.6%	4.3%

○全ての項目で肯定的な回答が80%以上でした。その中でも、設問2の「自分の学習への取り組みを先生はきちんと評価してくれる(分かってくれている)」は、97.3%でした。教師が適切に学習評価をしてくれていると児童が感じていることがわかりました。

○設問7の「自分は分かろうとする意欲をもって授業にのぞんでいる。」については、97%以上の児童が肯定的な回答でした。児童の授業に対する積極的な態度や意欲的に学習している姿がうかがえます。

○設問10の「自分は、分からないことは先生や友達に聞いている。」の肯定的な回答は96%以上でした。分からないことをそのままにせず教え合ったり、教員に聞いたりする雰囲気醸成されていることがうかがえます。

●設問5の「先生は、パソコンやプロジェクターなどのICT機器を活用した授業を行っている。」では、前期11.5%だった否定的な回答が12.3%になり、設問6の「先生は、授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている」では前期5.5%だった否定的な回答が7.0%と、わずかに増えています。設問3「先生は、授業で目標(めあて・ねらい)を示している。」については肯定的な回答が多いため、それに対応した、「まとめ」や「ふりかえり」の活動を設けることが重要だと捉えます。また、ICTを活用した活動もさらに研究していきます。

●設問9の「自分は、授業中、進んで自分の考えを発表している。」では、否定的な回答が、前期の約18%から約23%に増加しました。ペア学習やICT活用など、より一層の工夫をしていきます。

●設問14の「自分は、レッツスタディYGCを知り、取り組んでいる。(学年×10分の学習時間)」では、否定的な回答が、前期の13.8%から、22.2%に増加しました。基礎・基本となる宿題への家庭での取り組み方、自分からすすんで課題を設定して学習する習慣付けなどを指導していきます。

●設問15の「自分は、読書活動に意欲的に取り組んでいる」では、否定的な回答が、前期の約13%に対し、後期は約15%へと増加しました。引き続き、学期ごとのビブリオバトル、定期的な読み聞かせなどを軸に、読書に触れる機会を増やしていきます。

教職員 自己評価アンケート

実施期間 令和7年1月6日～17日

対象 全教職員

※「保護者アンケート」、「地域アンケート」、「児童アンケート」、「授業アンケート」を参考資料として、全教職員が、設定した目標や具体的計画等に照らして、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価しました。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	重点目標	本校の教育目標を理解し、教育活動を行っている。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%
2		研究テーマ「自分で考え、伝え合う児童の育成～算数って楽しい～」に向け、授業実践をしている。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
3		「学び合い」を深めるために、話し合い活動を工夫し、授業に取り入れている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
4		言語環境を整え、自らの考えを相手に伝える力を育むことができている。	18.2%	77.3%	4.5%	0.0%
5	学習指導	「聞く」「話す」の学びの姿勢を身につけさせ、学習規律が定着している。	13.6%	81.8%	4.5%	0.0%
6		基礎的な学力の充実・定着を十分に図り、教科の目標が達成している。	27.3%	68.2%	4.5%	0.0%
7		思考力や判断力の育成を重視した、問題解決学習や体験的活動を行っている。	36.4%	50.0%	13.6%	0.0%
8		個に応じた指導など、指導方法の工夫と改善を図っている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%
9		各教科において、年間指導計画に基づいて指導している。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%
10		朝読書や音読・朗読などの子どもの読書活動の推進に取り組んでいる。	54.5%	31.8%	9.1%	0.0%
11	生活指導	「あいさつ」など基本的な生活習慣が身につくよう指導している。	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
12		毎月の生活目標が達成できるように、意識化させ指導している。	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%
13		豊かな人間関係を育む活動を工夫し、思いやりの心をもたせている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
14		児童の悩みを聞き、相談に応じることができている。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%
15		いじめや不登校などの把握に努め、丁寧な対応を行っている。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%
16		安全指導計画に基づいて、安全指導を適切に行っている。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
17		生活指導における校内体制を把握し、自分の役割を果たしている。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
18	環境整備	学校、学年、学級の取り組みが分かるような、教室・廊下など掲示がなされている。	68.2%	22.7%	9.1%	0.0%
19		子どもの人権に留意した掲示がなされている。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%
20		施設、備品(教具)など有効に活用されている。	63.6%	22.7%	13.6%	0.0%
21		施設・備品の点検・整備・改善は、定期的に行っている。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%
22		子どもとともに、清掃活動に熱心に取り組んでいる。	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%
23	保護者や地域との連携	授業参観や懇談会は、保護者や地域の要望など踏まえながら実施している。	22.7%	63.6%	9.1%	0.0%
24		保護者や地域への情報発信は、十分にできている。	27.3%	59.1%	13.6%	0.0%
25		地域・保護者の人材を活用した授業を取り入れている。	22.7%	54.5%	13.6%	4.5%
26	小中一貫教育	小中一貫教育の趣旨を理解している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
27		小中一貫教育指導資料を活用し、9年間を見通した指導を行っている。	27.3%	59.1%	13.6%	0.0%
28		近隣の幼稚園・保育園と連携を取り、連携を推進(理解)している。	40.9%	36.4%	13.6%	4.5%
29		特別支援教育についての理解を深め、特別支援学級の担任やコーディネーター、SC、専門員などと連携を図り、対象児童の支援に適切に取り組んでいる。	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%

○前期同様、29項目中15項目が100%の肯定的回答でした。「あてはまる」が多かった上位2つを取り上げます。

「あてはまる」が最も多かったのは、設問19「子どもの人権に留意した掲示がなされている。」の86.4%でした。今年度の学校経営計画に掲げており、日頃より全職員で意識して実践していることが表れています。しかしながら、前期の90.9%よりも若干低下したため、継続的に会議や研修等で確認し、共通理解をもっていきます。

○次に「あてはまる」が多かったのは、設問11の『「あいさつ」など基本的な生活習慣が身につくよう指導している。』の81.8%でした。この項目は前期の72.7%から大きく増加しており、教職員の意識が向上していると考えられます。

●「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」、「わからない」を合わせた否定的回答が多かった2つを取り上げます。

否定的な回答が最も多かった項目は、設問25「地域・保護者の人材を活用した授業を取り入れている。」の22.6%でした。前期から引き続き否定的な回答が多い項目です。今後さらに地域の方や保護者の方にご協力をお願いし、一緒に教育活動を創り上げるようにしたいと考えます。同じく否定的な回答が多かったのが設問28「近隣の幼稚園・保育園と連携を取り、連携を推進(理解)している。」でした。さらに保育園等と連携し実施可能な交流活動を検討し、子どもたちがスムーズに小学校へ接続されるようにしたいと考えます。また、低学年の教員だけでなく、教員全体での情報共有も大切にしていきます。